

第95期 報告書

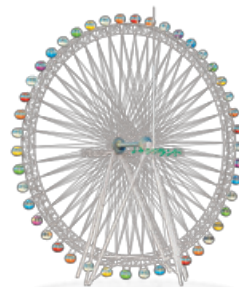
2018・04・01 → 2019・03・31

株式会社 よみうりランド

証券コード9671



遊びを、



まん中に



株式会社よみうりランドは、2019年9月に創業70周年を迎えます。

新たなステージに立ち、更なる飛躍を遂げるため、お客様への約束となる企業スローガンを策定しました。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。
当社グループ第95期（2018年4月1日～2019年3月31日）の事業の概要を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申しあげます。

2019年6月



代表取締役社長

杉山 美邦

営業の概況

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、建設や不動産などを中心に内需は堅調に推移しましたが、海外経済の減速を背景に外需は下振れし、企業収益や設備投資は足踏み状態が続きました。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費については、不安定な株価動向のほか、記録的猛暑や暖冬などの天候要因に左右されやすかったものの、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかに回復基調が続きました。

このような状況の下、当社グループは新たな顧客獲得を目指した新規イベントの開催や既存イベントの強化のほか、老朽化した施設改修などに対して積極的な設備投資をおこない、多角的に顧客満足度の向上に努めて参りました。

遊園地では、2018年3月の新アトラクション「ハシビロGO！」オープンを皮切りに、上半期は人気オンラインゲームとのコラボレーションイベントの受け入れや人気韓流アーティストが所属するYG ENTERTAINMENTとのコラボレーションイベント「YG SUMMER PARK 2018」などを開催し、新たな顧客層の開拓を図りました。下半期は、ゾンビをテーマにした参加型ハロウィンイベント「よみうりランド ハロウィン～ゾンビ大量感染中～」や、全エリアをリニューアルし、好評につき延長開催となった冬のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」などが好評を博し、多くのお客様で賑わいました。

夏のプールWAIは、規模を拡大した本格的なナイトプール営業などが好評を博し、記録的な猛暑もプラスに作用した結果、開業以来最高の入場者数を記録しました。

川崎競馬場では、競馬ファンの来場促進イベントを積極的に開催し、主要レースで前年を超える入場者数を記

録しました。また、好調なインターネット投票を背景に、2年連続で年間総売上高の最高記録を更新しました。施設面では、12月に1号スタンド3階の一部を、米国のG I「ケンタッキーダービー」をテーマにした有料エリア「ケンタッキーラウンジ」にリニューアルし、顧客満足度の向上を図りました。船橋競馬場では、インターネット投票の伸長もあり、ビッグレース「かしわ記念」をはじめとする本年度施行の重賞全11レースの内9レースで売上高記録を更新し、こちらも2年連続で年間総売上高の最高記録を更新しました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は219億5千7百万円（前年度比5.0%増）、営業利益は32億6千3百万円（同40.9%増）、経常利益は、35億3千7百万円（同37.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、23億3千8百万円と、固定資産売却益の計上があった前年度と比べ、10.8%減となりました。

対処すべき課題

2019年9月に創業70周年を迎える当社は、今後10年にわたる新たな経営の道標となる成長戦略「飛躍」（2019～28年度）を2月に発表しました。遊園地、公営競技の施設提供、ゴルフ場の三事業を基幹ビジネスとして発展させながら、新規事業にも積極的に取り組む方針です。新たに策定したブランドスローガン「遊びを、まんに。」を前面に打ち出し、企業認知度アップを図ります。

2019年5月に発表した中期経営計画（2019～21年度）は、成長戦略「飛躍」の最初の3か年度の計画と位置付け、2021年度（計画最終年度）における経営数値目標（連結）を、売上高256億円、営業利益34億円と決めました。計画3か年度累計の投資額は182億円となります。

創業70周年事業として、2019年度中に新たな集客施設である植物園をオープンします。遊園地は10周年を迎えるジュエルミネーションの営業にさらに注力し、都心という日本最大の商圈にある立地を生かし、独自の集客企画を年間を通して展開します。既存の屋内遊戯施設「グッジョバ!!」は当計画期間中に拡大及びリニューアルします。また、訪日外国人の集客を強化します。

川崎競馬場は、業界が推進する強い馬づくりに向けて、厩舎地区を中心とする大規模整備に着手します。船橋競馬場は、老朽化したスタンドの建て替えを含む大規模施設改修の具体的な作業に入ります。健康関連事業は、既存店舗の売り上げ安定化を図りつつ、新規店舗開拓、新規受託による事業拡大を推進します。

当社は、遊園地、公営競技施設、ゴルフ場等を所有し、その運営・賃貸を行う国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社であり、永年にわたり培ってきた事業ノウハウと、ブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源を持っています。万全の安全管理をしたうえで、コスト削減と業務の効率化を図り、常に新しいお客様サービスを模索し、企業価値の向上を目指します。

なお、成長戦略「飛躍」及び「中期経営計画」の詳細は、当社ウェブサイト（<https://yomiuriland.co.jp>）をご参照ください。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総合レジャー事業 売上高
20,179 百万円

総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、201億7千9百万円（前年度比6.7%増）、営業利益は41億5千2百万円（同34.7%増）となりました。

遊園地は、新アトラクション「ハシビロGO!」の3月オープンを皮切りに、4月は人気オンラインゲームとコラボレーションしたイベントや人気俳優が手掛ける舞台を受け入れ、新たな顧客層の獲得で入園者数の上積みにも努めました。ゴールデンウィークには恒例の食イベントを、装いを新たに「裏メニューフェス」として開催、6月には10回目を迎えたほたる観賞イベント「ほたる・ねぶたの宵」を開催し、さらなる集客を図りました。その後も、初となる人気韓国女性グループのハイタッチ会や、人気韓流アーティストが所属するYG ENTERTAINMENTとのコラボレーションイベント「YG SUMMER PARK 2018」、話題のバーチャルYouTuberをテーマにしたイベント「VtuberLAND」などを開催し、幅広い顧客層に遊園地の訴求をおこないました。また、園内で水を掛け合うがずが濡れイベント「ビッジョバ!!」や、たくさんのゾンビとともに仮装を楽しむハロウィンイベント「よみうりランド ハロウィン～ゾンビ大量感染中～」などの参加型イベントも開催し、大変な盛り上がりを見せました。9月には、3年目を迎えたモノ作りが体感できる新エリア「ビッジョバ!!」内のアトラクション5機種の利用条件を緩和し、より多くのお客様にお楽しみいただけるエリアとして好評を博しております。

そして10月からは、世界的照明デザイナー石井幹子氏がプロデュースするイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」が開幕しました。9回目を数えた今シーズンは、光の理想郷「ライトピア」をテーマに全エリアをリニューアルし、首都圏最大級の球数となる600万球で園内を彩りました。新登場した高さ25mの光の山「ジュエリー・マウンテン」や、昨シーズンから開催のイルミネーションに囲まれたアイススケートリンク「ホワイト・ジュエル」は、多くのお客様で賑いました。また、「ジュエルミネーション」にあわせて、映画やドラマなどを主軸にメディア展開するプロジェクト「PRINCE OF LEGEND」とのコラボレーションイベントを開催し、専用ブースや限定アトラクション、グッズ販売などがファンを中心に大きな反響を呼びました。好評につき、「ジュエルミネーション」は期間を延長し、3月下旬からは夜桜とイルミネーションが同時に楽しめる「夜桜ジュエルミネーション」として開催しました。桜並木を中心としたライトアップ演出に加え、ジェットコースターに乗って味わう絶叫花見や大観覧車やゴンドラから見下ろす空中花見など、遊園地ならではの多様なお花見スポットを提供し、好評を博しました。これらの結果、年間を通じた入園者数は増加しました。

夏のプールWAIは、恒例のオリジナルダンスと放水のコラボレーションショー「ダンスプラッシュ!!」が「YG SUMMER PARK 2018」と融合し、盛り上がりを見せたほか、「キリンレモン」とコラボレートしたウォーターゲーム「青春ダッシュ」や「ソース食おうぜ! 日清焼そばU.F.O.食堂」の新規出店で顧客満足度の向上を図りました。7月中旬からは、前年より規模を拡大してナイトプール営業をおこない、幅広い時間帯でお客様を受け入れた結果、記録的な猛暑も集客を後押しし、開業以来最高の入場者数を記録しました。

温浴施設「丘の湯」は、全国各地のご当地フェアや曜日ごとに特典をつけたイベントを開催したほか、食事処では季節に応じたメニューを取り入れ、好評を博しました。3月下旬からは「15周年記念イベント」を開催し、桜の時期と相まって賑わいを見せましたが、夏の猛暑や台風などの影響を受け、入場者数は減少しました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では、恒例のほたる観賞イベントやイルミネーションイベントに関連した特別メニューを提供し、好評を博しました。

温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、季節の花やフルーツを浮かべた「彩湯」や夏の「生源泉」、初めて実施した「丘の湯」との合同スタンプラリーが好評を博した結果、夏の猛暑や台風の影響などがあったものの、入場者数は前年並みとなりました。



「よみうりランド ハロウィン～ゾンビ大量感染中～」の様子



「夜桜ジュエルミネーション」の様子

ゴルフ練習場「よみうりゴルフガーデン」は、駐車場の案内表示増設やポスター、パンフレットによる宣伝強化に加え、「スクール無料体験キャンペーン」や「年末年始大抽選会」などのイベントが新規顧客及びリピーターの獲得に繋がり、夏の猛暑の影響などがあったものの、入場者数は前年並みとなりました。

親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、各種パスの販売強化や遊園地と連携して「はたる・ねぶたの宵優先観賞券付き利用券」を販売したほか、遊園地利用者を誘導する横断幕の設置や京王よみうりランド駅前の電子看板への告知で宣伝を強化しましたが、夏の猛暑などの影響を受け、入場者数は減少しました。

商業施設「グランツリー武蔵小杉」内の「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、各種パスの販売強化やハーフバースデーイベントの開催、受付業務の効率化などを図った結果、全国の「キドキド」の中でも常時高水準の売上高を維持し、入場者数は増加しました。

商業施設「プライムツリー赤池」内の「あそびのせかいプライムツリー赤池店」は、11月にオープン1周年を迎え、それを記念したイベントを実施したほか、各種パスの販売強化やリピーター獲得を目指した宣伝活動を継続した結果、入場者数は計画を上回るペースで推移しました。

以上の結果、遊園地部門の売上高は、60億4千万円（前年度比3.0%増）となりました。

川崎競馬は、前年度比1日減となる63日開催されました。6月の重賞「関東オークス」や、地方競馬で唯一「ケンタッキーダービー（米国開催）」の出走馬選定ポイントレースとなっている12月のビッグレース「全日本2歳優駿」が開催され、それぞれのレースが売上高レコードを更新しました。これらの結果、インターネット投票の伸長に支えられ、2年連続で年間総売上高の最高記録を更新しました。施設面では、12月に1号スタンド3階の一部を、米国のG1「ケンタッキーダービー」をテーマにした有料エリア「ケンタッキーラウンジ」にリニューアルし、顧客満足度の向上を図りました。また、3回目の開催となった「100円ビールフェス関東 in 川崎」や、初となる「川崎競馬 JAZZ NIGHT」などのイベントを本場開催日に実施するなど、引き続き川崎競馬の魅力向上に努めました。なお、南関東の他場（船橋・大井・浦和）開催の場外発売は前年度比1日減となる200日実施されました。JRAの場外発売施設「ウインズ川崎」は、前年度比2日減となる107日実施されました。

船橋競馬は、前年度比1日減となる56日開催されました。本年度からナイター競馬「ハートビートナイター」が通年開催となり、5月のビッグレース「かしわ記念」が初めて平日にナイター開催されました。インターネット投票の牽引により、同レースをはじめとする本年度施行の重賞全11レースの内9レースで売上高レコードを更新しました。これらの結果、2年連続で年間総売上高の最高記録を更新しました。また、近隣商業施設とともに主催している恒例の「おうまフェス」を定期的開催し、多くのお客様が賑わいました。なお、南関東の他場（川崎・大井・浦和）開催の場外発売は前年度比1日減となる207日実施されました。JRAの場外発売施設「J-PLACE船橋」は、前年度比1日増となる52日実施されました。複合型場外発売施設「サテライト船橋・オートレース船橋」での発売は、サテライト船橋が前年度比1日増となる363日、オートレース船橋が前年度比9日増となる354日それぞれ実施されました。サテライト船橋では開設10周年を記念したイベントの開催、オートレース船橋では「オートレース発祥68周年イベント」や人気選手の優勝報告会などを実施し、引き続きファンサービスの向上に努めました。

以上の結果、公営競技部門の売上高は、65億2千6百万円（前年度比14.4%増）となりました。



川崎競馬場 有料エリア「ケンタッキーラウンジ」



船橋競馬場「ハートビートナイター」の様子

東京よみうりカントリークラブは、引き続きトーナメント開催コースとしてのコンディション維持に努めました。2017年7月に導入した乗用カートによる集客効果が持続しているほか、予約枠に余裕がある日に「よみうりプロアマ」や「ファミリーダブルスクランブル大会」などの自主コンペや、「スイーツフェスタ」などの食イベントを開催した結果、天候にも恵まれ、入場者数は増加しました。なお、11月末から12月にかけて開催された「ゴルフ日本シリーズJTカップ」は、人気選手の出場や大会初となる3選手によるプレーオフなどで盛り上がりを見せ、前年を上回るギャラリー数となりました。

よみうりゴルフ倶楽部は、定期的な自主コンペの開催や継続的な外部営業のほか、新たな試みとして表彰パーティを隣接する遊園地内レストランで行うコンペの受け入れを実施し、集客に努めました。また、法人会員制化40周年を記念した会員向け期間限定の優待券の発行や記念競技会「よみうりダブルス杯」の開催が好評を博した結果、天候にも恵まれ、入場者数は増加しました。なお、本年もほたる観賞イベントやイルミネーションイベントと連携し、「ほたる・ねぶたの宵特別ディナー」や「ジュエルミネーション特別ディナー」をクラブハウスレストランで開催し、好評を博しました。

静岡よみうりカントリークラブは、季節や食をテーマにしたオープンコンペなどを定期的に開催したほか、夏期は「レディスゴルフフェスタ」を開催し、女性の集客策も積極的に実施しました。また、9月には快適なプレーを提供する高性能ナビ付き乗用カートへの入れ替えを実施し、顧客満足度の向上を図るとともに、これにちなんだコンペが好評を博しました。これらの結果、上期の大雨や台風の影響などがあったものの、入場者数は前年並みとなりました。

千葉よみうりカントリークラブは、開場40周年記念事業の一環としてクラブハウスロビーをリニューアルしたほか、業界初となる「タブレット署名」や「手のひら静脈認証」システムなどを導入し、業務の効率化やチェックインの簡素化を図りました。また、快適でスムーズな進行となるカート道の新設など、シニアや女性により楽しめる環境整備をおこないました。同時に、記念事業に関連した優待券などを配布し、リピーター獲得に努めましたが、夏の猛暑の影響などにより入場者数は減少しました。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、29億9千4百万円（前年度比3.5%増）となりました。



「ゴルフ日本シリーズJTカップ」の様子

販売部門の売上高は、夏のプールWAIの入場者数が大きく増加したことに伴う増収があったことなどにより、35億7千8百万円（前年度比6.0%増）となりました。

以上の結果、総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、201億7千9百万円（前年度比6.7%増）、営業利益は41億5千2百万円（同34.7%増）となりました。

不動産事業

売上高
1,182 百万円

不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が前年度に終了したことにより、11億8千2百万円（前年度比9.4%減）となり、営業利益は7億4千9百万円（同8.9%減）となりました。

サポートサービス事業

売上高
3,695 百万円

サポートサービス事業の売上高は、連結内部工事の増加などに伴い、36億9千5百万円（前年度比8.0%増）、営業利益は2億3千3百万円（同3.3%増）となりました。

よみうりランドの成長戦略「飛躍」

当社は1949年に設立され、今年9月に創業70周年を迎えます。

新しいステージに入るにあたって、会社を大きく飛躍させる成長戦略を策定しました。

遊園地、公営競技の施設提供、ゴルフ場の3大事業を基幹ビジネスとして発展させながら、新規事業に積極的に取り組んでいきます。

遊園地の隣接地域に造る読売巨人軍の新2軍球場との相乗効果を狙って、新しい集客施設を建設し、多摩丘陵の一角を「スーパー遊園地」に変貌させます。

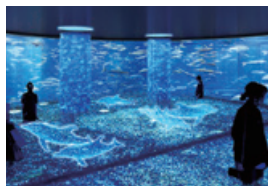
成長戦略のポイント

【ポイント1】遊園地はその枠を超える「スーパー遊園地」へ変貌

- ・「グッジョバ!!」の拡大リニューアル
 - ・イベントの拡大
 - ・大型コースターなどのアトラクションの増強
 - ・インバウンドの大幅増を狙った強力な誘致策
 - ・プールエリアの拡張
- ほか

【ポイント2】「アート水族館」と「エンタメ植物園」を新設

アート水族館とは、一つひとつの水槽がまるでアート作品のようなこれまでにない水族館です。テクノロジーによって観客側にも魚を浮かび上がらせ、実際の魚が回遊している水槽と融合し、水の世界に入り込むことのできる演出を行います。



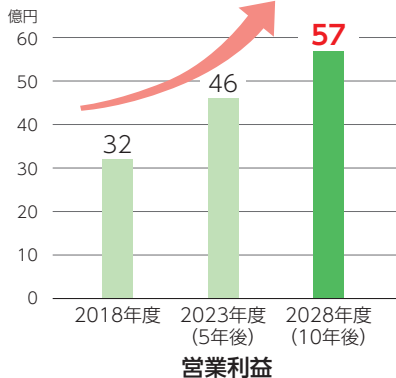
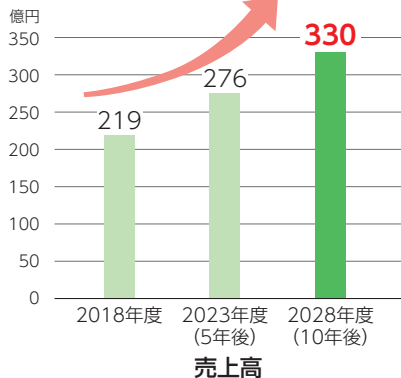
「アート水族館」

エンタメ植物園とは、小動物のパフォーマンスを見たり、夏場はホテルを鑑賞したり、1年中、エンターテインメントを体感できる植物園です。貴重な文化財が並ぶ日本庭園の景観を活かし、四季を通じて花に囲まれた庭園を舞台に驚きにあふれた新しい空間を作り出します。

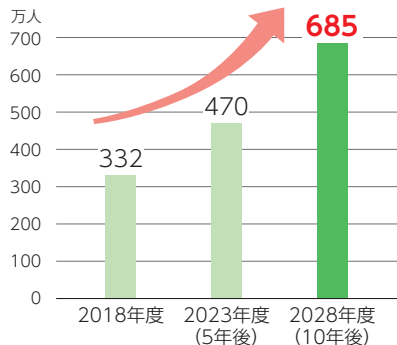


「エンタメ植物園」

【ポイント3】売上高、営業利益の拡大



【ポイント4】利用者数の拡大



総合レジャー事業の利用者数
(スーパー遊園地、温浴施設、キッズ施設)

成長戦略「飛躍」は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 売上高 **21,957** 百万円

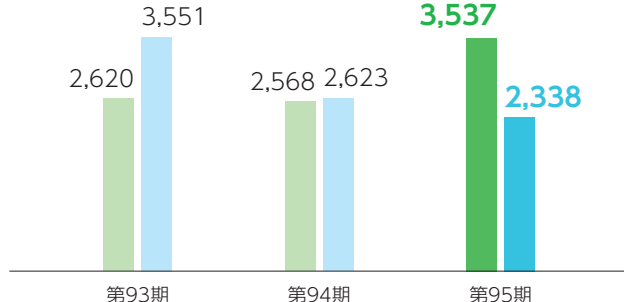
(単位：百万円)



■ 経常利益 **3,537** 百万円

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 **2,338** 百万円

(単位：百万円)



■ 1株当たり当期純利益 **304.24** 円

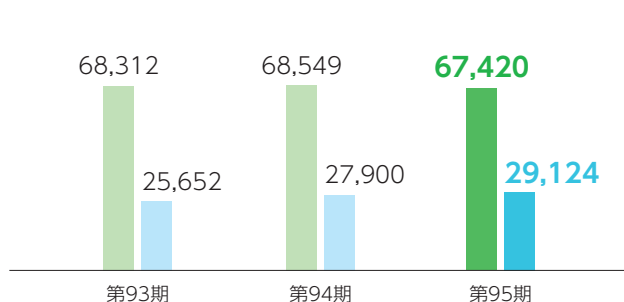
(単位：円)



■ 総資産 **67,420** 百万円

■ 純資産 **29,124** 百万円

(単位：百万円)



(注) 当社は2017年10月1日付で普通株式10株を1株にする株式併合を実施しております。第93期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

〔「税効果会計に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を第95期の期首から適用しており、第94期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。〕

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 2019年3月31日現在	前連結会計年度末 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,575	7,956
固定資産	58,845	60,593
有形固定資産	47,158	47,787
無形固定資産	70	61
投資その他の資産	11,616	12,744
資産合計	67,420	68,549
負債の部		
流動負債	6,636	6,226
固定負債	31,659	34,422
負債合計	38,295	40,649
純資産の部		
株主資本	25,595	23,643
資本金	6,053	6,053
資本剰余金	4,730	4,730
利益剰余金	17,097	15,143
自己株式	△2,285	△2,283
その他の包括利益累計額	3,529	4,256
その他有価証券評価差額金	3,531	4,259
繰延ヘッジ損益	△2	△3
純資産合計	29,124	27,900
負債純資産合計	67,420	68,549

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第95期の期首から適用しており、第94期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前連結会計年度 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
売上高	21,957	20,921
売上原価	16,682	16,649
売上総利益	5,275	4,272
販売費及び一般管理費	2,011	1,956
営業利益	3,263	2,315
営業外収益	314	301
営業外費用	40	48
経常利益	3,537	2,568
特別利益	85	1,454
特別損失	271	210
税金等調整前当期純利益	3,352	3,812
法人税、住民税及び事業税	1,084	1,165
法人税等調整額	△70	24
法人税等合計	1,013	1,189
当期純利益	2,338	2,623
親会社株主に帰属する当期純利益	2,338	2,623

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前連結会計年度 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,918	4,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,429	△802
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,577	△2,881
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△87	1,307
現金及び現金同等物の期首残高	5,601	4,293
現金及び現金同等物の期末残高	5,513	5,601

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (2019年3月31日現在)

商 号 株式会社よみうりランド
 (英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
 本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
 設立 1949年9月24日
 資本金 6,053,030,806円
 企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業
 公営競技部門…競馬、オートレース及び競輪の競技場等の施設運営
 ゴルフ部門…ゴルフ場の経営
 遊園地部門…遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設、親子向け屋内遊戯施設等の経営
 販売部門…食堂、売店の経営
 不動産事業
 不動産の売買、賃貸
 サポートサービス事業
 建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

当社の従業員の状況 (2019年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
138名	9名	43歳11ヶ月	16年3ヶ月

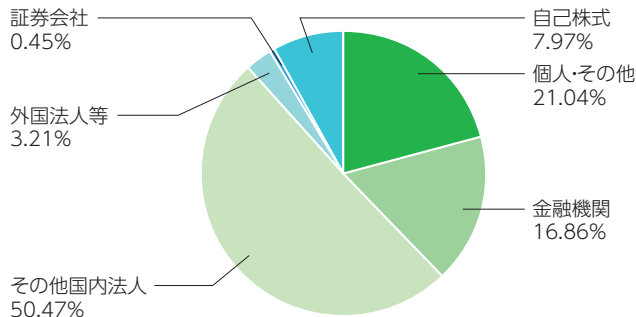
(注) 従業員数は就業人員 (契約社員を除く) であります。

役員 (2019年6月20日現在)

代表取締役社長	杉山美邦
専務取締役	小山興志
常務取締役	中村博
常務取締役	小林道高
常務取締役	越村好晃
取締役	浦田和慶
取締役	菊池剛太
取締役	斎藤孝光
取締役	上村武志
社外取締役	加藤 久保好男
社外取締役	山久保好男
社外取締役	山口寿一
社外取締役	村岡彰敏
常勤監査役	小林利光
社外監査役	濱田邦久
社外監査役	児玉幸治
社外監査役	岡田明重

発行可能株式総数…………… 29,419,600株
 発行済株式総数…………… 7,686,738株
 (自己株式665,464株を除く)
 当期末株主数…………… 10,293名

所有者別株主比率



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	1,250	16.27
日本テレビ放送網株式会社	1,124	14.62
株式会社東京ドーム	582	7.57
三井住友信託銀行株式会社	382	4.97
大成建設株式会社	285	3.71
京王電鉄株式会社	234	3.05
株式会社読売巨人軍	201	2.62
株式会社横浜銀行	163	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託)	137	1.79
オリンピック興業株式会社	127	1.66

(注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式665千株があります。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	9月30日 (中間)	3月31日 (期末)
発行時期	12月	6月
有効期間	1～6月	7～12月

招待内容

株主ご招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりものクーポン券引換 1枚 <small>園内で[のりもの4回分]のクーポン券5枚とお引き換えいたします。</small>	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚 (10回分)	
★プールWAI入場 5枚 (※期末発行分のみ)	

発行基準

ご所有株数	株主ご招待券綴	株主入場パス
100株以上	1冊	2枚
500株以上	2冊	3枚
1,000株以上	3冊	5枚
5,000株以上	4冊	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日

株主名簿管理人及び

特別口座の口座管理機関

郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先)
公告の方法

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。
<https://www.yomiuriland.co.jp/ir>
ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。

- ・ **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・ **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・ **「配当金計算書」について**
配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

遊びがもたらす感動や興奮、安らぎや学びは、
衣・食・住と同じくらい豊かな人生に欠かせない。
よみうりランドは、総合レジャー企業としての覚悟を胸に、遊びとまじめに向き合っています。

あらゆる世代の一人ひとりを見つめ、猝にとらわれない遊びを追い求める。
笑顔や歓声が大好きなスタッフが、
自分たちの持つ土地をキャンパスに、本当にいいと思った遊びを描く。

遊びを、まん中に。
いつだって想像のちょっと先をゆく遊びが、
人生を豊かにするから。

 **株式会社 よみうりランド**
ANNIVERSARY



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。